



「人・地球・環境」への貢献

2018年3月期 第2四半期 決算説明資料



(アスファルトプラント/長崎県)

2018年3月期 第2四半期 決算説明資料

- ▶ 決算実績サマリー …1
- ▶ 売上高と営業利益の推移 …2
- ▶ セグメント別売上高・営業利益 …3
- ▶ 経常利益増減要因分析 …4
- ▶ 財政状態の分析 …5
- ▶ 各事業セグメント毎の状況 …6-9
- ▶ セグメント別利益予想、配当金、設備投資 …10
- ▶ 配当金推移 …11



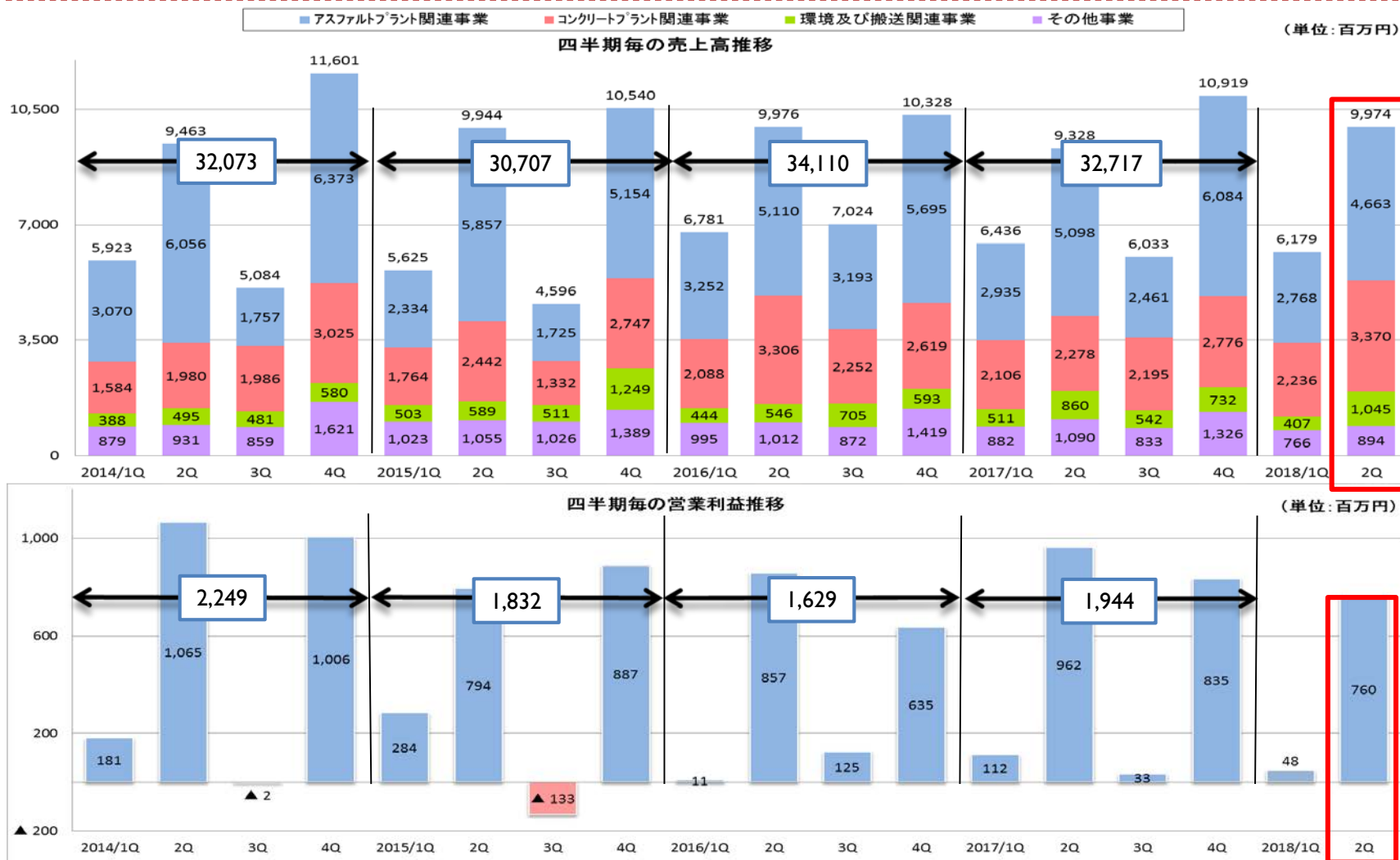
(コンクリートプラント/福島県)

決算実績サマリー

(百万円)

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減	決算のポイント (前年同期比)
売上高	15,764	16,153 予想(17,000)	+389 予想比(▲847)	【売上高】 コンクリート関連事業は、期初の高水準の受注残を予定通りこなし、前期比1,221百万増となったが、アスファルト関連事業は、製品・サービスともに前期比マイナスとなり、同事業全体では前期比601百万減となった。 その他事業も仮設機材、土農工具が前期比減少。
営業利益	1,075	808 予想(1,100)	▲ 266 予想比(▲292)	【営業利益】 今期は大型アスファルトプラントでの低採算物件が多く、全体の売上高原価率が前期比2.6%悪化の75.2%となったことが減益の最大要因。
経常利益	1,144	925 予想(1,200)	▲ 218 予想比(▲275)	【経常利益】 受取配当金が前期比10百万増、前期の為替差損24百万がなくなったことにより前期比48百万改善。
当期純利益	890	743 予想(800)	▲ 147 予想比(▲57)	【当期純利益】 有価証券売却益148百万、環境対策引当金戻入額39百万等を特別利益に計上したことにより、純利益は前期比147百万の減益にとどまる。

売上高と営業利益の推移

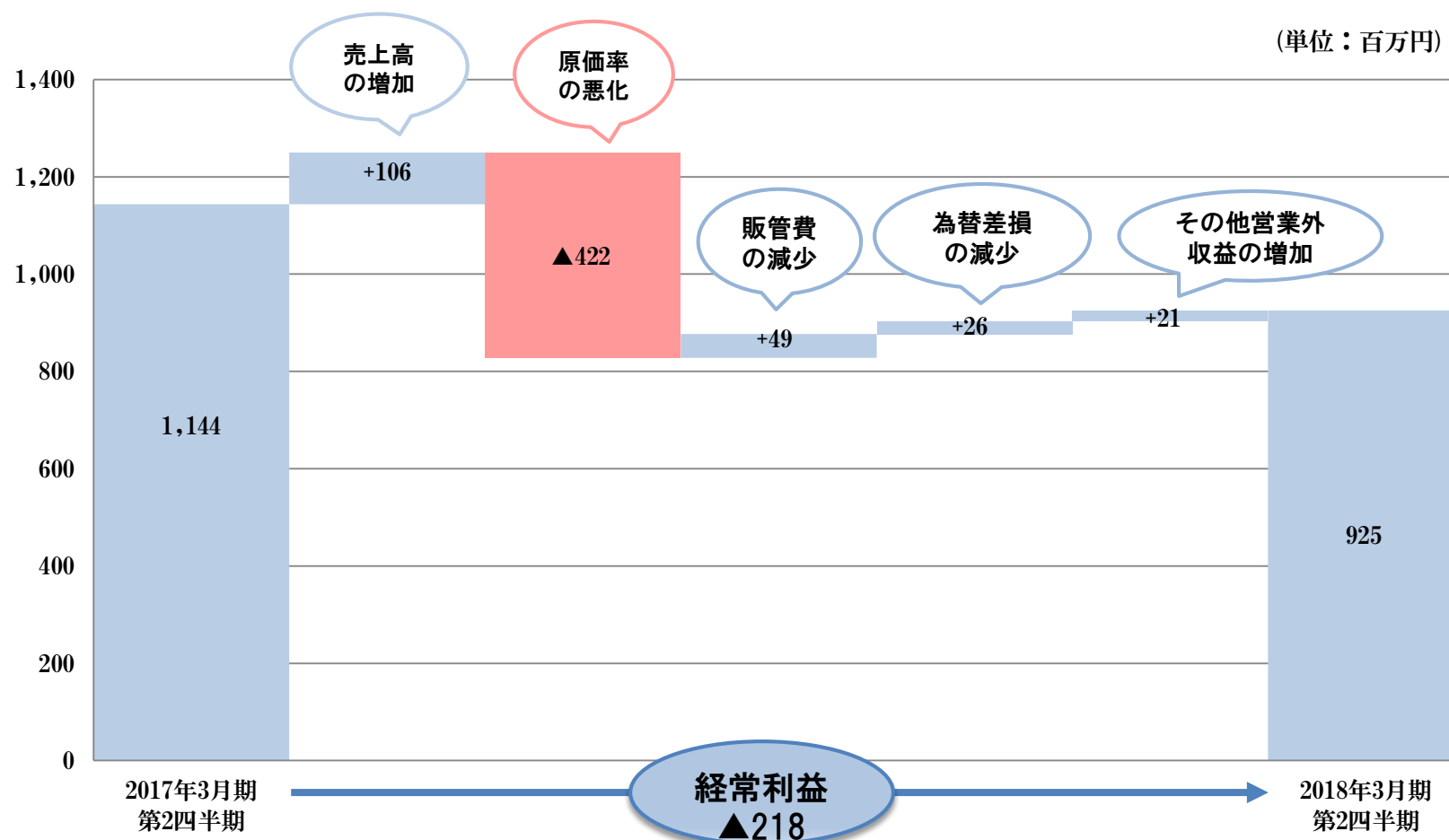


セグメント別 売上高・営業利益

(単位：百万円)

セグメント	売上高			営業利益		
	第2四半期			第2四半期		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
 アスファルトプラント 関連事業	8,034	7,432	▲601 (▲ 7.5%)	659	450	▲209 (▲ 31.7%)
 コンクリートプラント 関連事業	4,384	5,606	+1,221 (+27.9%)	497	669	+171 (+34.5%)
 環境及び搬送 関連事業	1,372	1,453	+81 (+5.9%)	254	101	▲153 (▲ 60.2%)
 その他事業	1,973	1,660	▲312 (▲ 15.8%)	184	107	▲77 (▲ 41.8%)
全社費用	-	-	-	▲ 521	▲ 519	-
合計	15,764	16,153	+389 (+2.5%)	1,075	808	▲266 (▲ 24.8%)

経常利益 増減要因分析



財政状態の分析

(単位:百万円)

連結貸借対照表		2017年3月期	2018年3月期 第2四半期	増減	主な変動要因
資産	流動資産	30,764	32,244	+1,480	現金及び預金+734 受取手形及び売掛金▲466 たな卸資産+1,124
	有形固定資産	5,206	5,120	▲85	
	無形固定資産	331	351	+20	投資有価証券+435
	投資その他	8,673	9,087	+413	
総資産合計		44,976	46,804	+1,828	

負債	流動負債	12,494	13,369	+874	支払手形及び買掛金+340 未払法人税等▲497
	固定負債	3,392	3,582	+190	未払金+676
純資産合計		29,089	29,853	+763	当期純利益+743 配当金▲232 その他有価証券評価差額金+483
自己資本比率(%)		64.7	63.8	▲0.9	
D/E レシオ(倍)		0.07	0.07	▲0.00	
1株当たり純資産(円 銭)		3,746.35	3,899.15	+152.80	

各事業セグメント毎の状況 アスファルトプラント関連事業

●セグメントの概要

アスファルトプラントの製造・販売・メンテナンスサービス。

販売先は主に国内の大手道路会社、及び海外各地区道路会社等。

●国内製品・サービスともに前期を下回る売上。利益率も低下。

国内製品売上は、大型物件の採算が低調で、全体の利益率を押し下げる結果となった。海外は中国での売上は増加したが、中国以外の売上が減少したため全体では減少。



【NAP・VP I-4516+AZU120】

長崎県

将来の地方の中・小型プラントのモデルとなるべく、コンパクトな省エネ型の最新式プラントであり、外装により環境面や見た目に十分配慮しています。



【NAP.ABD-1000MBA+NRU, TOP α 45-30ADF+AZU120】

福島県

コンパクトな省エネ型プラントでありながら、生産能力が高く多彩なオーダーに対応が可能です。全面外装など環境面にも充分に配慮しております。

(単位：百万円)

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	前期比
売上高	8,034	7,432	▲601 (▲7.5%)
構成比率	51.0%	46.0%	▲5.0%
営業利益	659	450	▲209 (▲31.7%)
営業利益率	8.2%	6.1%	▲2.1%

各事業セグメント毎の状況

コンクリートプラント関連事業

●セグメントの概要

コンクリートプラントの製造・販売・メンテナンスサービス
及びコンクリートポンプ車の製造・販売。販売先は主に国内の
生コン工場。

●期初の高い受注残を予定通りになし大幅な増収・増益。

上期としては、過去最高水準の売上・利益を計上。個々の製品の
利益率も比較的高く、昨年度を上回る利益率を計上。



【DASH-H130Evo II】

福島県

超高強度建築構造部材等、
多種多様のコンクリート
二次製品に対応するDASH-
Hyper ミキサを搭載した
バッチャープラントです。

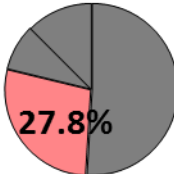
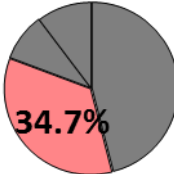


【DASH-H225Evo3150R-ITBR】

福井県

北陸新幹線工事の生コンク
リート需要に備え工場を新
設し、弊社バッチャープラ
ントDASH-H225EvoⅢをご採
用いただきました。セメン
トの取扱い種類も増やし多
品種のコンクリートに対応
しています。

(単位：百万円)

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	前期比
売上高	4,384	5,606	+1,221 (+27.9%)
構成比率			+6.9%
営業利益	497	669	+171 (+34.5%)
営業利益率	11.3%	11.9%	+0.6%

各事業セグメント毎の状況 環境及び搬送関連事業

●セグメントの概要

ベルトコンベヤの製造・販売。空き缶、ペットボトル選別等の環境関連製品の製造・販売。



【木質タール燃焼装置】

山形県

木質バイオマス発電にて発生する、副産物のタールを二次燃焼炉の燃料に利用。化石燃料を使わないため、コスト削減、CO₂削減にもつながります。



【リサイクルJ r.】

群馬県

物流関係企業に納入しました。市民から資源回収されてくるアルミ缶を選別・圧縮します。出来上がったプレス品は処理前より1/10に減容されており、運搬コストの削減になります。

●環境は前期に引き続き大型案件の売上を計上。

搬送製品の売上は増加したが、環境大型物件の採算が低調であったため大幅な減益となった。

(単位：百万円)

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	前期比
売上高	1,372	1,453	+81 (+5.9%)
構成比率	8.7%	9.0%	+0.3%
営業利益	254	101	▲ 153 (▲ 60.2%)
営業利益率	18.5%	7.0%	▲ 11.5%

各事業セグメント毎の状況 その他事業

●セグメントの概要

仮設機材、ショベル等土農工具、水門、破碎機等の製造販売。

●破碎機は大きく伸長するも、仮設機材、土農工具が売上減。

破碎機は大きく利益も伸ばしたが、仮設機材の前期大型物件による利益がはく落したため、全体では減益となった。



【新斜面ノリダーSD】
岐阜県

連結子会社 日エセック(株)
斜面ノリダーSDは、法面保護工事においてロープ高所作業者が、一時待機場として使用できるように開発致しました。作業員の安全確保の為、現場での採用が増えて来ております。



【タウンガード 脱着式防水板】
東京都

連結子会社 日エマシナリー(株)
東京オリンピック関連で新築された、高層ビル駐車場にて採用されました。地下駐車場への浸水を防ぐため止水高さ500mmにて出入り口に防水板を設置いたしました。

(単位：百万円)

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	前期比
売上高	1,973	1,660	▲312 (▲ 15.8%)
構成比率	12.5%	10.3%	▲ 2.2%
営業利益	184	107	▲ 77 (▲ 41.8%)
営業利益率	9.3%	6.5%	▲ 2.8%

セグメント別売上・利益通期予想と 第2四半期達成率、配当金、設備投資

(単位：百万円)

	売上高					営業利益 (営業利益率)				
	2017年 3月期	2018年3月期				2017年 3月期	2018年3月期			
		通期予想	1Q実績	2Q実績	達成率		通期予想	1Q実績	2Q実績	達成率
アスファルトプラント 関連事業	16,580	17,700	2,768	7,432	42.0%	1,253 (7.6%)	1,400 (7.9%)	100 (3.6%)	450 (6.1%)	32.1% -
コンクリートプラント 関連事業	9,356	9,200	2,236	5,606	60.9%	1,006 (10.8%)	900 (9.8%)	145 (6.5%)	669 (11.9%)	74.3% -
環境及び搬送 関連事業	2,647	3,500	407	1,453	41.5%	369 (13.9%)	450 (12.9%)	24 (5.9%)	101 (7.0%)	22.4% -
その他事業	4,133	4,100	766	1,660	40.5%	417 (10.1%)	450 (11.0%)	22 (2.9%)	107 (6.5%)	23.8% -
全社費用	-	-	-	-	-	▲ 1,102	▲ 1,100	▲ 244	▲ 519	47.2%
合計	32,717	34,500	6,179	16,153	46.8%	1,944 (5.9%)	2,100 (6.1%)	48 (0.8%)	808 (5.0%)	38.5% -

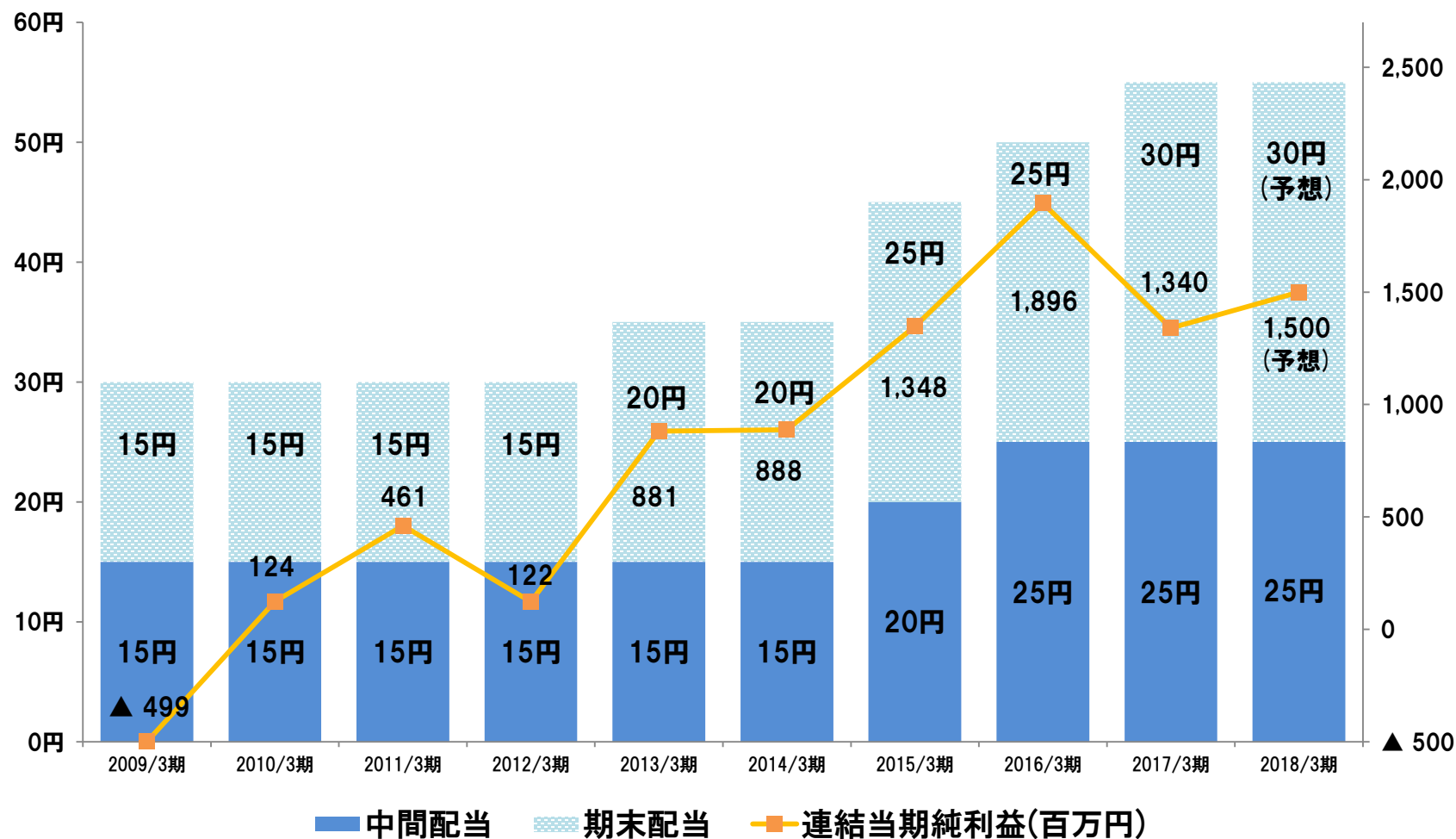
()のパーセンテージは営業利益率を示しております。

1株当たり配当金	2017年3月期			2018年3月期		
	中間	※	25.00 円	中間		25.00 円
	期末		30.00 円	期末(予想)		30.00 円
	年間		55.00 円	年間		55.00 円

※ 株式併合後の金額に置き直して記載しております。

	2017年3月期		2018年3月期	
	上期	通期	上期	通期(予想)
減価償却費	237百万円	482百万円	228百万円	485百万円
設備投資額	552百万円	1,261百万円	184百万円	1,200百万円

配当金推移



※株式併合後の金額に置き直して記載しております。



当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。

当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、投資判断を決定する場合には、当資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。

また、当資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更する事もありますので、ご了承ください。